

「東アジア文化都市北九州 2020▶21」について

1 東アジア文化都市北九州について

(1) 目 標 ～創造都市・北九州の実現に向けて～

参 加	芸産学官＋市民のオール北九州で取り組み、文化芸術を通じて市民のシビックプライドを醸成する
交 流	多様な交流を通じて東アジアとの相互理解や新たな価値を生み、アートのかによる文化観光を振興する
発 信	北九州発の文化芸術を国内外に効果的に発信し、国内及び国際的な評価を獲得する

(2) 概 要

会 期 2020年3月28日～2021年12月31日
主 催 北九州市・東アジア文化都市北九州実行委員会・文化庁
実施事業数 214事業

	プレ・ オープニング	式典	コア・ 主催事業	連携 事業	パートナ ーシップ 事業	交流 事業	計
実施	11	2	20	101	64	16	214
中止	7		3	39	33		82
計	18	2	23	140	97	16	296

総参加者数 164万人（オンライン参加者含む）

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・事業期間を2021年まで延長
- ・開幕式典ほかコア事業の実施を2021年へ延期
- ・入場制限や出演者のPCR検査などの実施
- ・中国、韓国への渡航制限
- ・コロナの影響による中止事業82件

2 主な市内開催事業

(1) 交流式典

開催日時：令和3年6月6日（日）

会 場：北九州芸術劇場 大ホール

ディレクター：柴田 英杞氏

概 要：オープニング公演、主催者挨拶
（文化庁長官）、中韓開催都市挨拶、
中韓交流事業開始宣言（北九州市
長）、文化交流公演

来 場 者：258名

※緊急事態宣言中であったため、関係
者のみで開催

視聴回数：6,226回

（中国語：414回 韓国語：230回）

※ 市民に観覧の機会を提供するため、各
市民センターで式典のアーカイブ映像
を上映。（令和3年11月～12月）



(2) 北九州未来創造芸術祭「ART for SDGs」

開催日時：令和3年4月29日（木・祝）
～5月9日（日）

※いのちのたび博物館は5月30日、
市立美術館本館は7月11日まで
会期延長

会 場：東田大通り公園、
いのちのたび博物館、東田第一高炉跡、
北九州イノベーションギャラリー、環境ミュージアム、
市立美術館本館、スペースワールド駅改札前広場

ディレクター：南條 史生氏

参加アーティスト：29組

来場者数：55,762人

※芸術祭の作品をアーカイブ化し、ネット上で作品を鑑賞できるツールを公開中



※「北九州のドードー/フクロオオカミ」は、レガシー作品として本市に寄贈され、
いのちのたび博物館敷地内にて展示中

(3) 未来へつなく東アジア伝統芸能の饗宴【コア事業（伝統芸能）】

開催日時：令和3年8月28日（日）

会場：北九州芸術劇場 大ホール

ディレクター：柴田 英杞氏

概要：日中韓伝統楽器（箏）による演奏、
長唄「元禄花見踊」「船弁慶」演奏、
創作日本舞踊「鳥獣戯画 EMAKI」
上演

来場者：349名

※緊急事態宣言中であつたため、来場者を制限して実施

視聴回数：10,117回

※市民に観覧の機会を提供するため、交流式典のアーカイブ動画と併せ、各市民センターでアーカイブ映像を上映。（令和3年11月～12月）



(4) 北九州国際映画祭【コア事業（メディア芸術）】

開催日時：令和3年11月12日（金）～
11月14日（日）

会場：市内映画館等

概要：支援作品の監督を招いたエキストラ交流会、支援作品の上映会（映画館・オンライン）、特別動画の配信

来場数：552人

視聴回数：3,955回



(5) 東アジア文学会議 2021 北九州【コア事業（文学）】

開催日時：令和3年9月20日（祝）

会場：北九州市国際会議場

概要：基調講演（講師：浅田次郎）、杉田久女をテーマにした俳句朗読劇、文学に関するシンポジウム

来場数：284人

※日本ペンクラブ公式 Youtube チャンネルにて、当日の様子を配信中（3月末まで）



(6) 連携事業

①2020 北九州国際音楽祭ウィーン・フィル

ハーモニー管弦楽団 北九州公演

開催日時：令和2年11月5日（木）

会 場：北九州ソレイユホール

来場者数：3,006人

（うち鑑賞教室 1,329人）



ゲルギエフ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 2020年北九州公演

②北九州市障害者芸術祭

<ステージプログラム>

開催日時：令和3年11月21日（日）

会 場：ウェルとばた

来場者数：1,200人

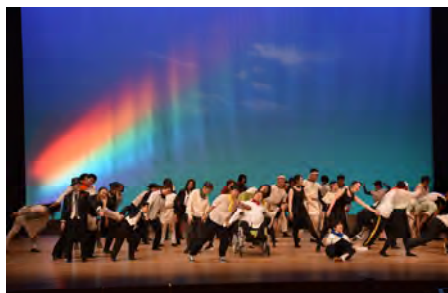
<作品展>

開催日時：令和3年11月23日（祝）

～11月28日（金）

会 場：北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

来場者数：496人



(7) 閉幕式典

開催日時：令和3年11月28日（日）

会 場：北九州芸術劇場 大ホール

概 要：オープニング公演、主催者挨拶（文化庁長官）、中韓開催都市挨拶、総括（北九州市長）、開催都市引継ぎ式、文化交流公演

来場者数：711人

視聴回数：5,381回（中国語：50回 韓国語：224回）



3 中国・韓国との交流事業

感染症の影響により、対面での交流は実施できなかったが、オンラインを活用した交流や、作品交流等を実施した。

総参加者数：1,350人

〈本市で実施した事業〉

オンラインライブペインティング「国境を越える鳥たち」

開催日時：令和3年11月18日（木）～11月19日（金）

会 場：北九州市立竹末小学校

参加者数：100人



〈主な事業〉

- ・ 書と文藝
- ・ 写真展「#放課後ダッシュ」
- ・ 日中韓書道篆刻展
- ・ 日中韓青少年芸術祭（順천시主催）

4 市民参加の取組み

(1) パートナーシップ事業

●事業実施状況

実施件数	中止件数	採択件数	活動者数
64件	33件	97件	3,124名

●主な事業

- ・KITAKYU JAZZ STREET（令和2年11月1日、令和3年3月27日、7月24日）
- ・子ども・留学生の能楽とアジアの芸能交流会（令和2年11月20日～21日）
- ・WAKAZONOタウンパレード（令和3年4月25日）
- ・第3回小倉城竹あかり（令和3年10月23日～11月1日）
- ・朝鮮通信使～雨森芳洲・誠信の交わり～演劇公演（令和3年11月20日～21日）
- ・2021朝韓中日文化芸術公演「チャンチ」（令和3年12月18日）



KITAKYU JAZZ STREET



子ども・留学生の能楽とアジアの芸能交流会



小倉城竹あかり



WAKAZONOタウンパレード



朝鮮通信使～雨森芳洲 誠心の交わり～



2021 朝韓中日文化芸術公演「チャンチ」

(2) 青少年へのアプローチ

東アジア文化都市を通じて、次世代を担う青少年に文化芸術に触れる機会を提供し、その感性を高め、創造性豊かな人材の育成を図った。

総参加者数：12,813人

<主な取組み>

① ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団による鑑賞教室

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が市内の中高生を対象とした鑑賞教室（リハーサル公開）を実施

開催日時：令和2年11月5日（木）

参加者数：1,329名



ゲルギエフ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 2020年北九州公演

② 北九州未来芸術祭「ART for SDGs」における取組み

市内の小学生（三年生）を対象に、SDGsをテーマにした作品を鑑賞するツアーを実施。

参加者数：455名



③ 北九州アニメソングピアノライブ2021における取組み

出演者が中学校の吹奏楽部を訪問し、音奏を披露したほか、部員と共にセッションを実施。

開催日時：令和3年11月10日（水）

参加者数：100名



5 国主催事業

(1) 第12回日中韓文化大臣会合

開催日時：令和3年8月30日（月）

会場：リーガロイヤルホテル小倉ほか



成果文書「北九州宣言」の発表

(2) 第2回東アジア文化都市サミット

開催日時：令和3年10月25日（月）

会場：北九州国際会議場他



パネラーによる記念撮影

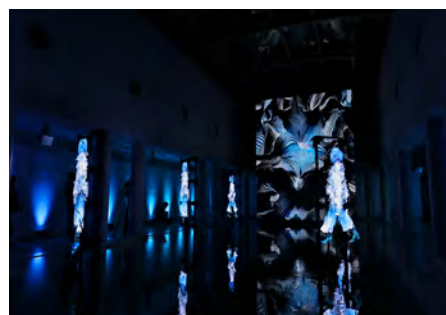
(3) 日中韓芸術祭

開催日時：令和3年10月25日（月）

会場：北九州市立美術館本館 アトリウム他



北九州市立美術館での収録



バーチャルファッションショーの様子

※制作された作品は令和4年3月5日（土）よりオンラインで公開中

6 コロナ禍における取組み

(1) 感染対策

① KitaQ Music Days

新しい生活様式に即した安全なイベントを開催し、民間事業者の事業再開の促進、アーティスト等への活動機会の提供のほか、市民が安全に文化に触れる機会を創出するためのモデルイベントを開催

Youtube やテレビ・ラジオでのライブ配信など、来場しなくても楽しめる新しい楽しみ方を提案した。



高校生による書道パフォーマンス

開催日時：令和2年10月17日（土）、18日（日）

会場：勝山公園大芝生広場

② イベント開催時における感染症対策マニュアルの策定

コロナ禍における新しい生活様式をふまえ、「イベント開催時における感染症対策マニュアル」を策定。当マニュアルに基づきイベントを実施したほか、関連事業者が活用できるようホームページで公開を行った。



(2) 支援事業

① アートでつなぐ未来プロジェクト（アーティスト支援事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動の機会を失っている市内のアーティスト等による文化芸術活動を支援するとともに、市民がイベント等に参加しなくても文化芸術に触れられる機会の創出を図るため、アーティスト等による動画作成に対し助成を行った。

実施期間：令和2年5月25日（月）～6月18日（木）

採択状況：127件（493人）

7 情報発信

市民を始め、多くの方々に東アジア文化都市に参加していただき、まち全体が盛り上がるよう、広報活動を実施した。

(1) 広報活動

- ①ポスター、チラシ、のぼりなどロゴマークを軸とした統一的なビジュアルによる屋外広告を展開
- ②小倉城のライトアップ&ムービングライトショー
- ③ロゴマークを用いたトリックアート
- ④ハローキティの応援大使就任



ハローキティ応援大使就任式



小倉駅改札上広告

(2) 市民参加型の広報の実施

- ①ロゴマーク決定のための市民投票を実施
- ②市民が「時と風の博物館」に投稿した写真を用いてメインビジュアルを制作

(3) SNSを活用した発信

新聞、市政だよりへの掲載やチラシ・ポスターの掲出といった従来型の広報に加え、SNS等を活用した情報発信に力を入れた。

	Twitter	Facebook	Instagram	Youtube
投稿件数	836	704	681	207
閲覧回数	3,424,749	146,542	205,206	353,467
「いいね」等の反応回数	57,524	14,086	18,494	-

(公式 Twitter)



(公式 Facebook)



(公式 Instagram)



8 事業成果

(1) 東アジア文化都市における成果

▶（文化芸術活動の場の創出による）市民の創造的な活動が活発に行われた



▶文化芸術活動がSDGs、教育、福祉、国際交流などの分野と結びつき、文化芸術を活用したまちづくりのきっかけとなった。



「創造都市・北九州」の実現への新たなスタート

(2) 成果指標の達成状況

<アウトプット>

目標	成果指標	目標値	実績値
参加	主催・連携事業数	90件	126件
交流	交流派遣者数	500人	0人
発信	SNS発信件数	240件	2,428件

<アウトカム>

目標	成果指標	目標値	実績値
参加	総来場者数	150万人	164万人 (オンライン除く) 99万人
交流	交流人員数	2,000人	(1,350人) ※オンライン等による交流人員
発信	エンゲージメント数	24,000件	443,571件
文化芸術を「身近に感じる ことがある」と思っている市民の割合		2019年比(41.1%) +10%	調査中 8月公表予定

(3) 事業実施に係る効果測定

- ◆パブリシティ効果 19億7,300万円 【九州博報堂調べ】
(調査期間:2019年10月~2022年12月)
- ◆経済波及効果推計 16億200万円 【北九州市立大学調べ】

9 アンケート・参加者の声

(1) 市政モニターアンケート

調査概要【令和2年度調査】

調査期間 令和3年1月25日～2月10日

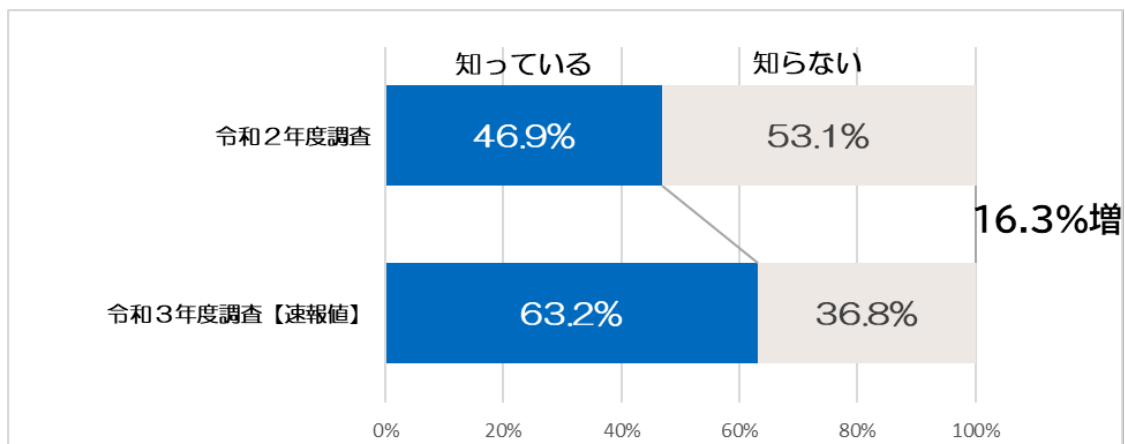
回答数 128名（回収率85.9%）

【令和3年度調査】＜速報値＞

調査期間 令和4年1月17日～1月31日

回答数 135名（回収率90.6%）

①東アジア文化都市北九州の認知度

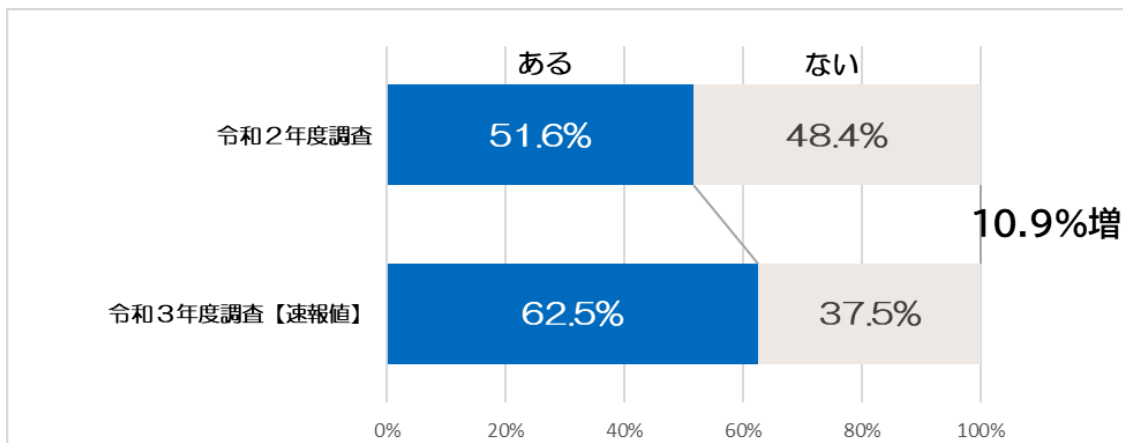


②本市で東アジア文化都市を開催した効果（複数回答）

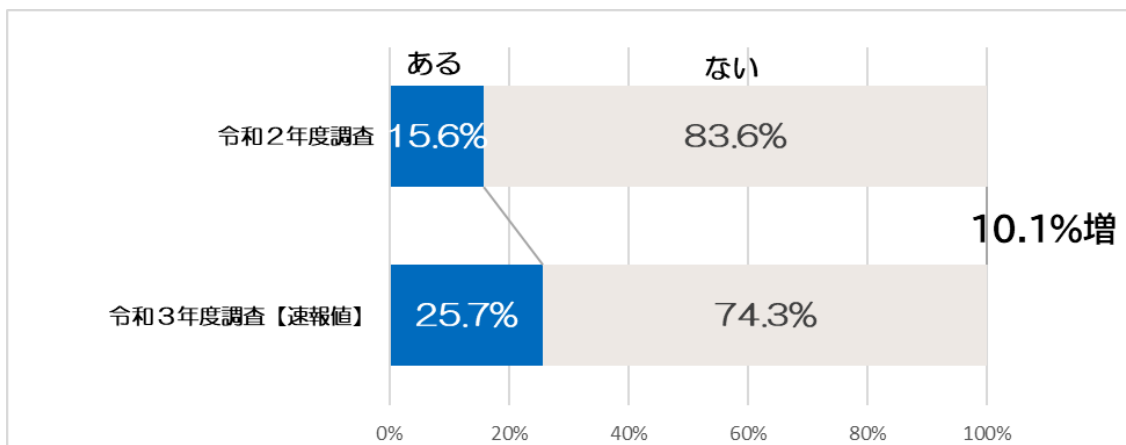
	令和3年度調査【速報値】
市の文化芸術の発展につながる	64.7%
東アジアの交流につながる	62.5%
北九州のにぎわいにつながる	48.5%
文化芸術を担う人材が育つ	33.8%
文化芸術が経済効果やビジネスを生み出す	33.1%
効果なし	9.6%

※上位5項目を掲載

③過去一年間で文化芸術の鑑賞を行ったことがあるか



④過去一年間で文化芸術活動の実践を行ったことがあるか

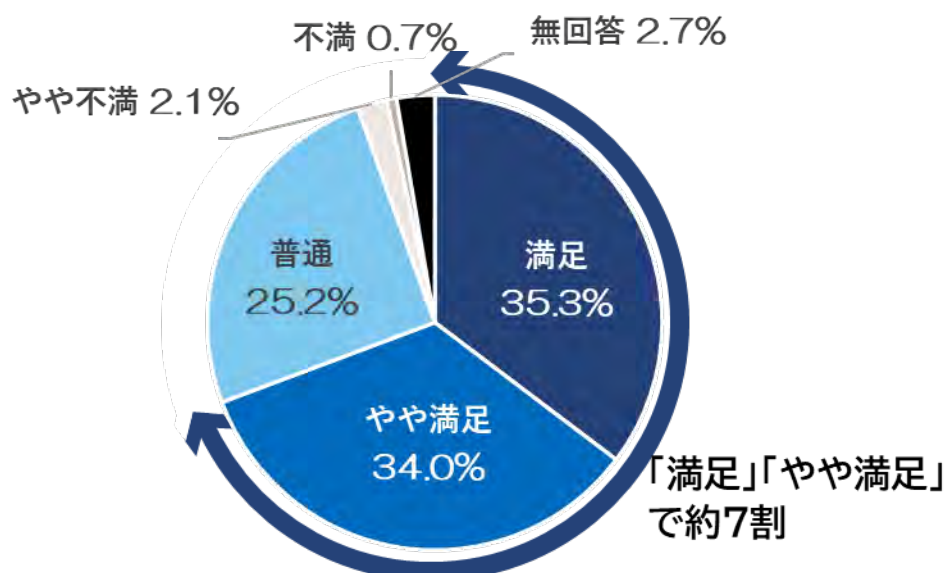


(2) イベント参加者アンケート

調査概要 調査対象事業

- 【式典】(令和3年度)閉幕式典
- 【コア事業】(令和2年度)詩、踊る
(令和3年度)ART for SDGs、伝統芸能饗宴
- 【主催事業】(令和2年度)KitaQ Music Days
(令和3年度)紫川出版の事件簿
- 【交流事業】(令和3年度)写真展「#放課後ダッシュ」
- 【連携事業】(令和2年度)スーパークローン文化財展
(令和3年度)北九州アニメソングピアノライブ
西日本陶磁器フェスタ

①参加したイベントの満足度 (回答数: 2,190件)

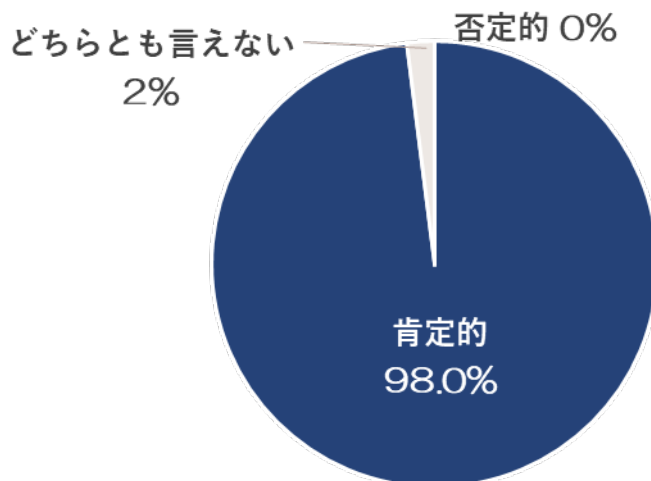


(3) パートナーシップ事業採択者向けアンケート

調査概要 調査対象 パートナーシップ事業採択者

回答数 49件

①本市で東アジア文化都市を開催することに対する意見

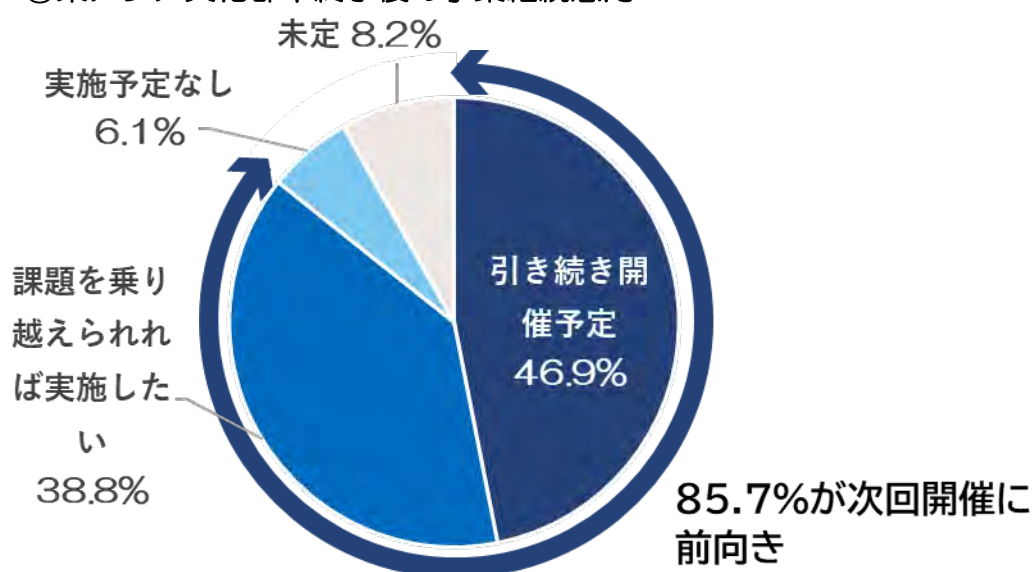


②東アジア文化都市を踏まえた今後の施策（複数回答）

北九州の文化芸術への助成支援	91.8%
文化芸術を次世代へつないでいき、人材の育成を図る	67.3%
文化芸術人材の交流機会の確保	61.2%
北九州の文化芸ニーズの掘り起こし	55.1%
北九州の文化芸術の国際発信	53.1%

※上位5項目を掲載

③東アジア文化都市終了後の事業継続意向



(4) 参加者の声

① イベント参加者

- これからの社会に重要な考え方をいろいろな角度で見ることができ、大変面白かった (ART for SDGs)
- 地元北九州でのこういうイベントは嬉しいし、誇りに思う。(ART for SDGs)
- 迫力ある邦楽が珍しく良かった。鳥獣戯画の再演を期待する (伝統芸能饗宴)
- 東アジアの古典芸能の素晴らしさに、改めて心を打たれた。コロナ禍ではあるが、「もっと舞台を見たい」、「伝統芸能のお稽古に行きたい」と前向きな気持ちを持てた。(伝統芸能饗宴)
- 北九州市が力を入れている様々な文化を発信する良い機会となった。北九州市の文化発信内容や方法のレベルが上がっていると感じる。(北九州アニメソングピアノライブ 2021)
- とても素敵な公演だった。芸術に携わる身として、今後も自身と活動に勤しもうと思った。(閉幕式典)
- 中国、韓国の各都市の公演を生で見たかった。久しぶりの生の舞台に感動した。(閉幕式典)
- 文化を通じて人の心が豊かになり、日中韓の交流が深まり、芸術に関する市民の関心が高まることを切に願う。(閉幕式典)

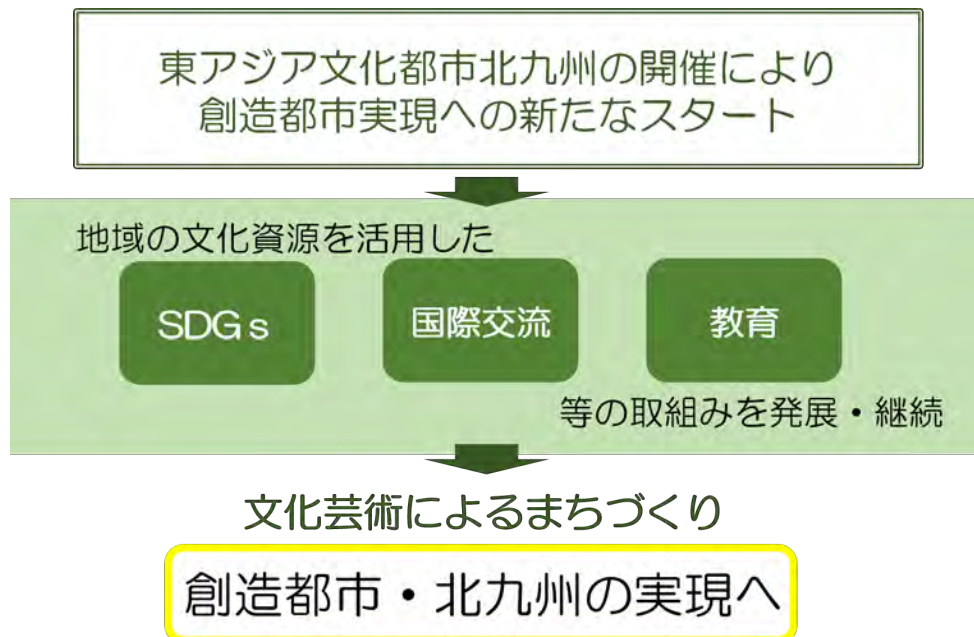
② パートナーシップ事業採択者

- コロナで開催をあきらめようと思ったが、支援があったので開催に踏み切ることができた
- チャレンジさせていただいてよかった。とても勉強になった。
- コロナの影響があったものの、予定どおり実施することが出来た。補助金のお陰で、内容を充実することが出来、多くの方に喜んで迎え入れられた。今回のような助成事業の継続を望む。

③ 青少年向け事業参加者

- 展示を見て、体験することで SDGs の取組みに参加できてうれしかった。(高校生 ART for SDGs)
- 作品制作を手伝い、作品一つを作るのに色々な人が関わっている事を初めて知った。単にセンスがあるだけでは駄目なのだと思う。色々な物や人に関わっていきたいと思う。(高校生 ART for SDGs)
- あまり美術館などに行かないので貴重な体験をした (小学生 ART for SDGs)
- 長唄というと古臭いというイメージを持っていたが、今回の授業でイメージが変わった。新鮮な新しいものを知ったような感覚になった (中学生 長唄ワークショップ)
- コロナでも、遠くても言葉が通じなくても友達になれるのだと感じた (小学生 オンラインライブペインティング)
- 中国の学校に行って1日過ごしてみたいと思った (小学生 ライブペインティング)
- 有名な方が作品を見てくれて、感想を言ってくれてうれしかった (高校生 日中韓芸術祭)

10 今後の取組み



(1) 次期北九州市文化振興計画の策定

北九州市文化振興計画の計画期間が令和4年度で終了となることを受け、次期計画の策定に向けた準備を行う。

(2) 青少年向けアウトリーチ事業

① 「ART for SDGs」関連事業

北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs のコンセプトを受け継ぎ、子どもを対象に文化芸術やレガシー作品（後述）を活用して、SDGs の啓発に繋がるワークショップや作品展の実施、環境学習の推進などに取り組む。

実施時期 令和4年度内（調整中）

対象者 小学生

② 「ART for SDGs」レガシー作品の寄贈

北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs のシンボリックな作品であるゴミアート「北九州のドーデー／北九州のフクロオオカミ」の寄贈を受けた。今後、市民や地域の小学校と連携して作品の見守りや維持管理を行うとともに、環境ミュージアム等や市内小学校における環境学習の教材として活用する。



北九州のドーデー／北九州のフクロオオカミ

③伝統芸能ワークショップ

東アジア文化都市の様々な事業で培ってきた市内の伝統芸能の活動家とのつながりを活かし、日本舞踊等の体験型ワークショップを開催し、青少年が伝統芸能に触れるきっかけをつくる。併せて、各流派の垣根を超えた交流、指導者の育成を図る。

実施時期 令和4年秋予定

対象者 市内の青少年

(3) 日中韓交流事業

①中国・韓国開催都市との交流事業

市内の小学校、中国・韓国の開催都市の小学校をオンラインで結び、子ども達自身がわが街を相互に紹介し合うほか、絵の共同制作などを通じて、それぞれの国の文化や考え方への理解を深め、グローバル人材の育成を図る。

実施時期 令和4年秋予定

対象者 市内の小学生等

※その他、中国・韓国開催都市と協議の上、交流事業を実施予定。

②日中詩人会議

「文学の街・北九州」の発信のため、「北九州市」をフィールドに、日本と中国の詩人による朗読会やトークイベントなどの市民交流事業を実施する。

実施時期 令和4年11月予定

(4) 北九州市文化芸術活動活性化支援事業

市内で活動を行うアーティスト等の活動を支援するため、東アジア文化都市事業が契機となってスタートした事業や、伝統芸能の継承、子ども達が優れた文化芸術に触れる機会の創出につながる事業等を対象とする助成事業を実施する。